

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
医療関係 専門課程	臨床検査科	夜・通信	2305	240	
	医療秘書科	夜・通信	910	80	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) ※臨床検査科については臨床検査技師学校養成所指定規則で定める単位数95単位					

○「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

カリキュラム一覧に 講師名を入れ実務経験有無をわかるようにしている。 ホームページにて公表 http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/zitsumu_umu.pdf

○要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/rizi_member.pdf
--

○学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現 県議会議員	令和元年 7月17日 ～ 令和5年 7月16日	外部理事として、組織運営体制へのチェック機能を果たすとともに、学校法人の最終的な意思決定機関である理事会において、学校運営計画の策定等に対してその知見の充分な活用を図る。
非常勤	元 県議会議長		
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

<p>1. 各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>（授業計画の作成・公表に係る取組の概要） 個々の授業科目の内容の概要や計画を示す授業計画（シラバス）は、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、その役割は学習の案内と学習への動機づけとなる。 「学生が何を身に付けるか」という視点でガイドラインに沿って授業計画（シラバス）作成を前年度中に、担当講師に依頼し、新年度当初にホームページにて公表する。</p>	
授業計画の公表方法	<p>ホームページにて公表 http://www.kyuigi.ac.jp/students/syllabus</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>（各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 九州医学技術専門学校「単位認定の方針について」をもとに、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準のとおり、単位の評価を行っており、評価基準としては以下のとおりとなる。 成績の評価は、試験、レポート。学習態度、出欠状況などの総合評価とする。</p> <p>①その科目の年間出席時間数が出席すべき時間数の3分の2以上であること。</p> <p>②科目習得の認定は100点法で、60点以上でなければならない。</p> <p>「単位認定の方針について」諸規則集を学生に配布し、周知徹底を図っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPAなどの客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「単位認定の方針について」を基準に、授業計画(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準に沿って100点満点で点数化し全科目の平均点を算出して成績分布を示す。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p>http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/tani_hoshin.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校(学科)規程に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。</p> <p>～臨床検査科～</p> <p>卒業について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 卒業認定試験を受験する者は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の102単位を修得しておかなければならない。 2) 所定の102単位を修得したものを卒業とする。 3) 原則として卒業認定試験については、国家試験に準じ200点満点とし、第1回と第2回の平均点が120.0点以上の者を合格とする。 4) 卒業判定会において、卒業と卒業認定試験再試験受験者が決定する。 <p>～医療秘書科～</p> <p>卒業について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 所定の履修時間(単位)を終了したものを卒業とする。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/sotsu_nintei.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の開示（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○財務諸表等

財務諸表等	開示方法
貸借対照表	http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/h29_zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/h29_zaimu.pdf
財産目録	http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/h29_zaimu.pdf
事業報告書	http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/h29_zaimu.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/h29_zaimu.pdf

○教育活動に係る情報

①学科等の情報

〈臨床検査科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療系専門課程	臨床検査科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2915 単位時間/単位	1625 時間	時間	1290 時間	時間	時間
		単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		116人	0人	6人	40人	46人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （授業計画の作成・公表に係る取組の概要） 個々の授業科目の内容の概要や計画を示す授業計画（シラバス）は、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、その役割は学習の案内と学習への動機づけとなる。

「学生が何を身に付けるか」という視点でガイドラインに沿って授業計画（シラバス）作成を前年度中に、担当講師に依頼し、新年度当初にホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法 （各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
九州医学技術専門学校「単位認定の方針について」をもとに、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準のとおり、単位の評価を行っており、評価基準としては以下のとおりとなる。 成績の評価は、試験、レポート。学習態度、出欠状況などの総合評価とする。 ①その科目の年間出席時間数が出席すべき時間数の3分の2以上であること。 ②科目習得の認定は100点法で、60点以上でなければならない。 「単位認定の方針について」諸規則集を学生に配布し、周知徹底を図っている。
卒業・進級の認定基準 （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校（学科）規程に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。 卒業について 1) 卒業認定試験を受験する者は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の102単位を修得しておかなければならない。 2) 所定の102単位を修得したものを卒業とする。 3) 原則として卒業認定試験については、国家試験に準じ200点満点とし、第1回と第2回の平均点が120.0点以上の者を合格とする。 4) 卒業判定会において、卒業と卒業認定試験再試験受験者が決定する。
学修支援等
補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談を行い、学校全体で取り組むようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 （100%）	0人 （0%）	※30人 （88.2%）	4人 （11.8%）
（主な就職、業界等） 県内外の医療機関（病院 検査センター等）			

<p>(就職指導内容) 自己分析→自己PR→履歴書作成 面接指導</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を得られる。</p>
<p>(備考) ※臨床検査技師国家試験に合格した者のみが、臨床検査技師として就職できるため。 国家試験合格者の就職者数は100%</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
131 人	13 人	9.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更 学力不足 家庭の事情(学費など)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習、補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談		

〈医療秘書科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療系専門課程	医療秘書科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	910 単位時間/単位	670 時間	時間	240 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		13人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（授業計画の作成・公表に係る取組の概要）</p> <p>個々の授業科目の内容の概要や計画を示す授業計画（シラバス）は、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、その役割は学習の案内と学習への動機づけとなる。「学生が何を身に付けるか」という視点でガイドラインに沿って授業計画（シラバス）作成を前年度中に、担当講師に依頼し、新年度当初にホームページにて公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）</p> <p>九州医学技術専門学校「単位認定の方針について」をもとに、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準のとおり、単位の評価を行っており、評価基準としては以下のとおりとなる。</p> <p>成績の評価は、試験、レポート。学習態度、出欠状況などの総合評価とする。</p> <p>①その科目の年間出席時間数が出席すべき時間数の3分の2以上であること。</p> <p>②科目習得の認定は100点法で、60点以上でなければならない。</p> <p>「単位認定の方針について」諸規則集を学生に配布し、周知徹底を図っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校（学科）規程に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。</p> <p>卒業について</p> <p>1) 所定の履修時間（単位）を終了したものを卒業とする。</p>
学修支援等
補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談を行い、学校全体で取り組むようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 （100%）	0人 （0%）	17人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 県内外の病院、クリニック、調剤薬局など			
（就職指導内容） 自己分析→自己PR→履歴書作成 面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療秘書技能検定 メディカルクラーク 調剤事務管理士技能認定試験			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 補習、補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
臨床検査科	250,000 円	700,000 円	300,000 円	
医療秘書科	100,000 円	400,000 円	350,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 ホームページにて公表 http://www.kyugi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/school_zikotenken.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
自己点検・評価を職員が一体となって取組み、自ら学校運営、教育活動を改善していくとともに、特に学校と関連の深い企業等の関係者、卒業生などからなる「学校関係者評価委員会」を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図っていくこととする。また、これらの意見を反映し、学校側の意向に沿ったものに偏らないよう、真に社会が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、学生、保護者の意向にも十分配慮した教育内容及び学校運営を旨うことを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法		
2020年度から評価を確実に公表する。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法

<http://www.kyugi.ac.jp>